

企業紹介

金属・非鉄金属を問わず、微細加工
技術で、どんな素材でも形にします

株式会社 内野精工
UCHINO SEIKO

代表取締役 内野 進
長岡工場：〒940-2117 長岡市石動南町50番地5
TEL 0258-47-2081 FAX 0258-21-4506
<http://www.uchinoseiko.co.jp>

業 種：製造業
本 社：東京都国立市
資 本 金：9,000万円
業 務 内 容：精密機械器具製造業

半世紀以上前に東京でカメラ・タイプライター部品の精密加工から始まった内野精工。長岡への工場進出以降も事業を拡大し、現在では、社員総勢70名体制の規模にまで成長した。今後も、需要拡大する医療用機器向け部品の微細加工を中心に、更なる発展が期待される。

県内大手工作機械メーカーとの縁から長岡進出

同社の創業は、半世紀以上前の1957（昭和32）年、東京都国立市でカメラ・タイプライター部品の精密加工を始めた。その後、産業機器・医療機器向け部品の微細加工へと事業を拡大してきた。

同社が長岡へ進出するきっかけは、精密加工用に長岡市内の大手工作機械メーカーの機械を早くから使っていたことから生まれた。取引の拡大に伴い、主力だった東京の村山工場に手狭感が出てきた時に、長岡にまとまった敷地があるので進出しないかと勧められ、1992（平成4）年に工場を新設し、村山工場の業務を集約した。



▲長岡第一工場の外観

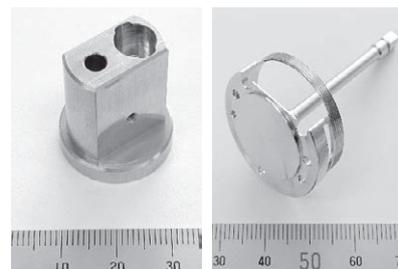


▲工場内には加工用機械の設備がズラリ

多様な設備を保有しワンストップ体制を構築

同社の強みの一つは、複合旋盤、マシニング、NCワイヤ放電加工機、平面研削盤、円筒研削盤等のNC機械100台をはじめとして、多種多様な設備を工場内に保有し、ワンストップ体制で様々な素材を微細加工できる点にある。「手のひらに乗るサイズなら、どんな素材でも形にします」との看板に誇張は感じられない。

光学機器を含む産業用機器向け金属部品、樹脂部品の加工から医療用機器部品の加工・組立まで同社事業は多岐にわたる。さらに、本社を試作工場、長岡を量産工場として、24時間稼働により、試作から量産加工まで幅広く対応している。



▲同社主要製品の一例

需要拡大が期待される内視鏡用部品等を製造

本格的な高齢社会の中、需要が拡大している医療用機器市場において、同社は既に20年以上に及ぶ内視鏡の加工部品の納入実績を誇る。今後は、硬性内視鏡用部品を主力商品の一つに据えて製造していく方針であり、現在、その開発に社長と息子である専務が二人三脚で注力している。

「社員の一人が身に付けた卓越技術を、他の社員が競って真似るようになり、自然に全体のレベルアップが図られている」とうれしそうに語る内野社長。風通しの良い人間関係の中で、社員同士が切磋琢磨し、社内全体に「誠実・努力・情熱」を醸成させる空気が満ちあふれている。東京本社10名、長岡工場60名の総勢70名の全社が一丸となり、更なる発展を目指す。



▲社長と専務（社訓の前で）